

香川大学教育学部附属坂出小学校で

支援活動③のかわりに**授業見学**を実施しました

2月18日、教育創造コースの1年生が、香川大学教育学部附属坂出小学校において支援活動を実施する予定でしたが、コロナ禍で中止となりました。そこで、3月1日に小学校の理科の授業をリモートで見学させていただきました。授業見学をして、生徒達にはさまざまなことに気づきがあったようです。

【教員に対する気づき】

- ・ いろいろな材料を用意していて、実験のやり甲斐がありそうだ。
- ・ 児童の1人に発表させるのを繰り返すのではなく、全体で答えさせることで手を挙げるのが恥ずかしい児童も発言しやすい。
- ・ 黒板の字が大きく、分かりやすい。
- ・ めあてを児童に考えてもらう。
- ・ 発表者が話しやすい環境をつくっていた。
- ・ テレビを用いた指導で、児童にとってわかりやすく授業を進めている。
- ・ 最後にワークをすることで、すぐに身につく。
- ・ 授業全体をクラス全員で作りに上げていた。



【児童を見た気づき】

- ・ 何も言われなくても自分達で役割分担をしている。
- ・ みんなが実験に協力的。
- ・ 1つの結果から他の関連性を考えている。
- ・ 目標を児童が考えている。
- ・ 前回よりもどれだけできるようになったかを授業の最後に発表している。
- ・ 最後に自分の言葉でまとめを作り発言することで、まとめる力が自然とつくと思った。
- ・ 自発的に発表していた。

これで、今年度の小学校との連携は終わりました。小学校の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。来年度こそはコロナウィルスが流行する前の活動に戻りたいものです。